

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市在宅医療・介護連携推進会議 令和7年度 第1回連携体制等に関する部会		
事務局 (担当課)		在宅医療・介護連携支援センター 電話042-769-9250 (直通) 医療政策課 電話042-769-9230 (直通)		
開催日時		令和7年5月20日(火) 19時30分～20時10分		
開催場所		Web開催 及び けやき会館 2階 中研修室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	11人(在宅医療・介護連携支援センター所長、外10人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 職務代理の指名について</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携推進事業の実績について</p> <p>(3) 在宅医療・介護連携推進事業(連携体制等に関する部会)の今後の取組について</p> <p>(4) 在宅医療・介護連携事例等発表会について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉 会</p>		

議 事 の 要 旨

1 開 会

2 議 題

(1) 職務代理の指名について

部会長の指名により澤野委員を職務代理に選出した。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業の実績について

事務局より資料に基づき、説明した。

※質疑、意見なし

(3) 在宅医療・介護連携推進事業(連携体制等に関する部会)の今後の取組について 事務局より資料に基づき、説明した。

(斉藤委員) 今後、入退院支援のルール等を定めた手引きを部会の中で作成していけると良いと考える。他市の事例として、千葉市では入退院支援のルールや介護報酬に関する情報のほか、各種様式等を含めた手引きを作成している。県内では茅ヶ崎市が作成しているものを例にすると、こちらは千葉市のものと比較するとボリュームがあり、入退院支援のルールや急性期病院の流れ、ケアマネジャーとの連携、心構え等が記載されており、介護保険制度についてもかなり細かく載っている。この中で特に良いと思ったのは、各病院の訪問看護指示書請求の窓口や、診療情報提供書の問い合わせ窓口など細かい情報が載っている点である。新しくケアマネジャーやMSWになった方には、在宅医療・介護連携推進会議で作成してきた人生会議リーフレットや誤嚥性肺炎ケアサポートガイド、退院時支援カンファレンスの充実を目指すことなども盛り込めると、より活用しやすいのではないかと考えている。また、ケアマネジャーのシャドーワークの多さについても厚労省で議論がされている。善意で賄われるサービスに持続性は無いと思われるため、業務負担を普段のサービスの質を落とさずに提供でき、且つMCSの活用も網羅できるようなリーフレットが作成できると良いと考えるが、どうか。また、廣瀬委員が提唱されている退院支援カンファレンスが一番盛んな相模原を目指せるようなツールとなることを期待している。

(土田委員) 入退院支援の際、ケアマネジャーは情報提供をしないといけないということが決まっている。そのツールについては様々なものがあり、ケアマネジャーの会でも作っているが、100%使われているわけではない。相模原市としては、病院がたくさんあるので、「これだけやっ

てあれば、網羅されている」というような、推奨できるものを作成して、過不足なく情報提供できるようなツールとして作成できるとよいと思う。

様々な病院でどんな情報を求めているのか、スクリーニングして、漏れの無いものを作成していければ良いと考える。

(梅澤部会長) クリニックの医師として、病院等に情報を提供することがあるが、希望先が変わると、別の用紙に初めから全て書き直すということがあり、大変な状況である。

施設入所の場合も施設によって様式が違う。家族に情報をお渡しして、入所先に持って行き確認してもらって、その返事を待っていると時間がかかる。こういった情報がある程度決まったフォーマットで、どの病院・施設でも情報共有できるようになると、非常に能率的になると思う。また、医療機関の先生方のご存じであると思うが、今年度秋口頃に電子カルテ共有サービスという仕組みが始まる。診療情報提供書に退院時サマリーを添付して渡す形になる。こうした情報伝達ツールの前段階として、共通のフォーマットがあると移行もスムーズにいくと思う。市の方では現時点で考えがあるか。

(事務局) 市としては、今後、在宅医療・介護連携に関する多職種による研修の場などで幅広くご意見をいただきながら、連携体制等に関する部会の中で、具体的な内容について議論していけると良いと考える。なお、委員の任期が令和8年度までとなっているため、令和9年3月までの間で、手引きを作成できると良いと考える。

(4) 在宅医療・介護連携事例等発表会について

事務局より資料に基づき、説明した。

(梅澤部会長) 議題2の報告にあった、MCSの多職種連携グループについて、参加人数は多いが、医療機関数は3機関程度であったと思う。医療機関からコメントを貰うには少し時期尚早と考えるがいかがか。

(事務局) 現時点でMCS多職種連携グループに参加していただいている医療機関数は多くない。グループの立ち上げ及び周知が始まって3か月程度ということもあり、実際にどこまで活用事例があるか把握はできていないが、そこまで多くは無いと思われる。

(梅澤部会長) そうすると、案1または案2で職種選択を含め事務局にお任せする形でどうか。

(土田委員) 案1、案2ともに、MCSを使っただけの対応もあると思う。案3も網羅できると考える。

(梅澤部会長) 案3の内容も含める形で、案1または案2で決定していただく形でしょうか。

また、コーディネーターについては、テーマによって異なってくる部分だと思うので、テーマが決まる流れの中で、オファーをする形としたいが、どうか。

※委員異議なし。

(水上委員) MCSについては以前医師会で勉強会を企画したが、残念ながら医師会会員からの参加が無く、流れた経緯もある。案1、案2どちらになっても、MCSを活用した事例があれば、そういった内容も含めて開催出来ると良いと思う。事例等発表会は土曜日の午後の開催であり、私もコーディネーターを担っているが、どうしても医師等の参加が多くはないこともあり、医師会でも各医療機関に周知を図っていきたいと思う。MCS等の利用があれば、発表の中に入れていただけると良いと思う。

3 その他
特になし

4 閉会

※原則、審議と関係のない発言、単純な言い間違いなどを除き、発言者及び発言内容を記載する。

(別紙)

令和7年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議
第1回 連携体制等に関する部会 委員出欠席名簿

No.	氏名	所属等	備考	出欠席
1	阿部 徳子	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		欠席
2	伊藤 憲秀	地域包括支援センター		出席
3	内田 善久	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
4	梅澤 慎一	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
5	菊地 歳光	相模原市ホームヘルパー協会		出席
6	小林 麻衣子	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
7	斉藤 正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
8	澤田 弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
9	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会	職務代理	出席
10	下井 麻紀子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
11	杉谷 雅人	相模原市認知症疾患医療センター(連携型)		出席
12	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
13	土田 陽子	さがみはら介護支援専門員の会		出席
14	日高 明夫	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
15	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
16	松岡 義人	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		出席
17	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席
18	荒川 雅子	一般社団法人相模原市医師会(訪問看護ステーション)		出席